

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【公開番号】特開2014-237815(P2014-237815A)

【公開日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-070

【出願番号】特願2014-104160(P2014-104160)

【国際特許分類】

C 09 D 11/34 (2014.01)

B 41 J 2/01 (2006.01)

B 41 M 5/00 (2006.01)

【F I】

C 09 D	11/34	
B 41 J	2/01	5 0 1
B 41 M	5/00	E

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月9日(2017.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結晶性成分と、

L-酒石酸ジシクロヘキシルおよびクエン酸トリシクロヘキシルの混合物を含む非晶質成分物質と、を含む相転移インクであって、酒石酸のエステルのクエン酸のエステルに対するモル%比率が50:50~75:25であり、

前記非晶質成分物質が-11~-14のガラス転移温度を有する、相転移インク。

【請求項2】

前記非晶質成分物質が、前記相転移インクの総重量に対して、5%~40%の量で存在する、請求項1に記載の相転移インク。

【請求項3】

結晶性成分物質/非晶質成分物質の重量比が60/40~95/5である、請求項1に記載の相転移インク。

【請求項4】

顔料、染料およびそれらの混合物からなる群から選ばれる着色剤を更に含有する、請求項1に記載の相転移インク。

【請求項5】

140の温度において22cP未満の粘度を有する、請求項1に記載の相転移インク。

。

【請求項6】

室温において10<sup>6</sup>cPを超える粘度を有する、請求項1に記載の相転移インク。

【請求項7】

100~140のジェット噴射温度を有する、請求項1に記載の相転移インク。